

2012年4月

# カリフラワー

CAULIFLOWER

(*Brassica oleracea* L.convar. *botrytis* (L.) Alef.

var. *botrytis* L.)

## カリフラワー審査基準

### ・審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、アブラナ科 (*Brassicaceae*) ブラシカ属 (*Brassica* L.) のカリフラワー変種 (*B. oleracea* L. convar. *botrytis* (L.) Alef. var. *botrytis* L.) の全ての品種に適用する。

### ・提出種苗(Material Required)

- ) 種苗の形態 種子
- ) 提出時期 審査当局が指定する時期
- ) 数量 1,000 粒  
種子は、発芽率、純潔率、含水量等保存に適したものであること。
- ) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- ) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

### ・試験の実施(Conduct of Tests)

- ) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ) 最低供試個体数 60 個体 (2 区以上の反復区に分割すること。)
- ) 栽培期間 2 生育周期であるが、区別性及び均一性の結果が決定的な場合は 2 回目を省略することができる。
- ) 調査方法  
調査個体数 特に指示がない限り、植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個とする。  
均一性は供試した全ての個体で判定する。  
調査時期等 特性表の調査方法欄にある(a)~(b) の記号を含む形質については、以下のとおり調査する。  
(a)葉に関する形質は、花らい形成前の十分に展開した葉で行う。  
(b)花らいに関する形質は、収穫期に行う。
- ) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

### ・判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

他家受精品種の場合、許容される異型個体数は、同一の種類に属する既存品種の変異の幅との相対比較により判定する。

単交雑品種の場合、供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 2 である。

近交系品種の場合、供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 4 である。

### ・グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

- ) 胚軸のアントシアニン着色の有無 (形質 1)
- ) 花らい球の色 (形質 21)
- ) 花の色 (形質 27)
- ) 春作の収穫の早晩性 (形質 28)
- ) 夏作の収穫の早晩性 (形質 29)
- ) 雄性不稔性 (形質 30)

・ 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G : グループ分けに使用する形質

(\*) : 必須形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : . に特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

網掛け : 種苗法施行規則第 5 条で定める願書 (別紙様式第 1 号) に出願者が記載する  
特性及び階級値

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

. 特性表(Table of Characteristic)

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL (* G	胚軸のアントシアニン着色の有無	Seedling: anthocyanin coloration of hypocotyl	胚軸のアントシアニン着色	観察 VG	1 9	有 無	absent present	野崎早生	
2	2	QN	草丈	Plant: height (at time of harvest)	収穫期の草丈、立毛の最高部までの高さ	測定 cm MS (a)	1 3 5 7 9	極低 低 中 高 極高	very short short medium tall very tall	名月 野崎早生 スノークラウン 野崎中早生	
3	3	QN	茎の長さ	Stem: length (up to insertion of first leaf)	茎基部より第一葉着生位置までの茎の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	名月 野崎中早生 マ-チムタ	
4	4	QN (* (+)	葉の姿勢	Leaf: attitude	葉の着生角度(姿勢)	観察 VG (a)	1 3 5	直立 半直立 水平	erect semi-erect horizontal	魁 80 日 野崎早生 名月	
5	5	QN (*	葉の長さ	Leaf: length	最大葉の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	名月 野崎早生 野崎中早生	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
			6	6				QN (*)	葉の幅		
7	7	QN (*)	葉の幅/長さ	Leaf: ratio width/length	葉の幅と長さの比	観察 VG (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
8	8	QL (+)	葉の切れ込みの有無	Leaf: lobing	葉の切れ込みの有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	野崎早生	
9	9	PQ	葉の色	Leaf: color (with wax if present)	葉の色(ワックスがあれば ワックスがついた状態で)	観察 VG (a)	1 2 3	緑 灰緑 青緑	green grey green blue green	野崎早生	
10	10	QN (*)	葉の色の濃淡	Leaf: intensity of color (as for 9)	葉の色の濃淡	観察 VG (a)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	名月 野崎早生 野崎晩生	
11	11	QN	葉の先端のねじれの強弱	Leaf: twisting of tip	葉の先端のねじれの強弱	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
12	12	QN	葉の横断面の形	Leaf: shape in cross section	葉の横断面の形状	観察 VG (a)	1 2 3	凹 平 凸	concave flat convex	名月	
13	13	QN	葉の凹凸の強弱	Leaf: blistering	葉の凹凸の程度	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
			14	14				QN (+)	葉の主脈付近の縮れの強弱		
15	15	QN	葉の周縁の波打ちの強弱	Leaf: undulation of margin	葉の周縁の波打ちの程度	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	しらたま 3号 野崎早生	
16	16	QN (*)	花らい球の抱葉のかぶり	Curd: covering by inner leaves	花らい球の抱葉の被覆程度	観察 VG (b)	1 2 3	無抱 部分抱 全抱	not covered partly covered covered	野崎早生 野崎中早生 スノーマチ	
17	17	QN (*) (+)	花らい球の高さ	Curd: height	花らい球の高さ	測定 cm MS (b)	3 5 7	低 中 高	short medium tall	野崎早生 野崎中早生 マームタ	
18	18	QN (*) (+)	花らい球の直径	Curd: diameter	花らい球の直径	測定 cm MS (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	名月 野崎早生 野崎中早生	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
			19	19				PQ (* (+)	花らい球の縦断面の形		
20	20	QN (* (+)	花らい球のドーム形成の強弱(花らい球が三角形のものを除く。)	<u>Excluding varieties with curd shape triangular</u> : Curd: doming	花らい球のドーム状ふくらみの程度	観察 (b)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
21	21	PQ (* G	花らい球の色	Curd: color	花らい球の色	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	白 黄 オレンジ 緑 紫	whitish yellow orange green violet	ス <sup>o</sup> ホ <sup>o</sup> ル  ホ <sup>o</sup> ン <sup>o</sup> ブ <sup>o</sup> ケ  するがむらさき	
22	22	QN (+)	花らい球のこぶの凹凸	Curd: knobbling	花らい球表面の凹凸のこぶ状の凹凸の細小、粗大の程度	観察 VG (b)	3 5 7	細小 中 粗大	fine medium coarse	ス <sup>o</sup> ク <sup>o</sup> ウ <sup>o</sup> ク <sup>o</sup> 野崎早生 ス <sup>o</sup> キ <sup>o</sup> ク <sup>o</sup>	
23		QN	花らい球の重さ	Curd: weight	花らい球の重さ	測定 g MS (b)	3 5 7	軽 中 重	light medium heavy	名月 野崎早生 野崎中早生	

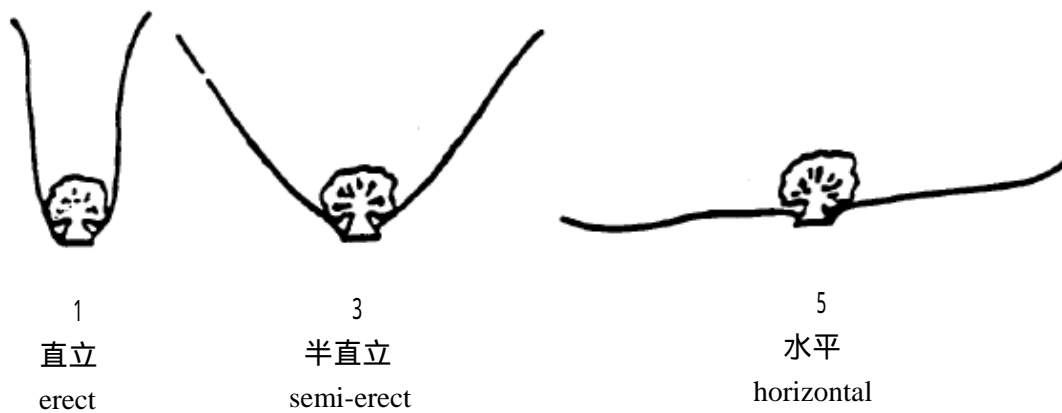


形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考	
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)			
			24	23				QN (+)	花らい球のきめの粗密			Curd: texture
25		QL	花らい球の渦巻き形成の明瞭性	Curd: conspicuousness of spiral pattern	花らい球表面の渦巻き形成の明瞭さ	観察 VG (b)	1 2	不明瞭 明瞭	obscure obvious	ス <sup>o</sup> イ <sup>l</sup>		
26	24	QL	花らい球のアントシアニン着色の有無	Curd: anthocyanin coloration after harvest maturity	収穫期以降の花らい球のアントシアニン着色	観察 VG	1 9	無 有	absent present	するがむらさき		
27	25	QL (* G	花の色	Flower: color	開花時の花色	観察 VG	1 2	白 黄	white yellow			
28	26	QN (* (+ G	春作の収穫の早晩性	Earliness in spring planting	春作型における早晩性	測定 月日 MS	3 5 7	早 中 晩	early medium late			
29	27	QN (* (+ G	夏作の収穫の早晩性	Earliness in summer planting	夏作型における早晩性	測定 月日 MS	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early medium late very late	サマ-スノ- 野崎早生、 スノ-クワン スノ-ドレ スノ-ホワイト		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	28	QL (* (+ G	雄性不稔性	Male sterility	雄性不稔性の有無	観察 VG	1 2 3	無 部分 完全	absent partial total		

・特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 4 葉の姿勢 Char.4 Leaf: attitude



形質 8 葉の切れ込みの有無 Char.8 Leaf: lobing



1  
無  
absent

9  
有  
present

形質 14 葉の主脈付近の縮れの強弱 Char.14 Leaf: crimping near main vein



1	5	9
無又は極弱	中	極強
absent or very weak	medium	very strong

形質 17 花らい球の高さ Char.17 Curd: height

形質 18 花らい球の直径 Char.18 Curd: diameter



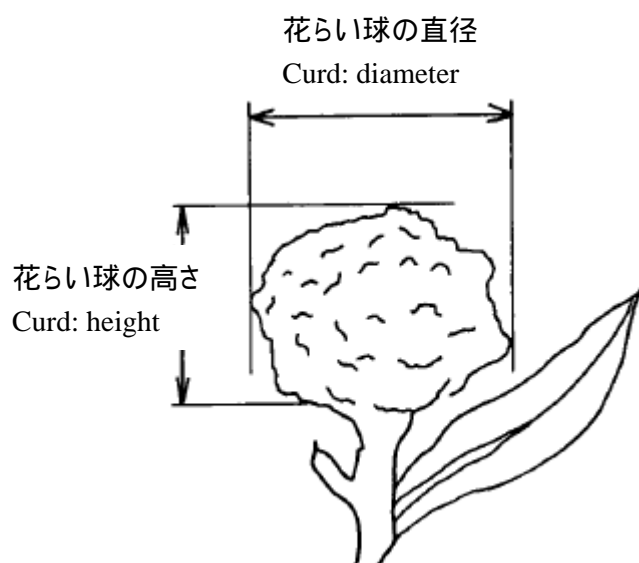
3  
低  
short



5  
中  
medium



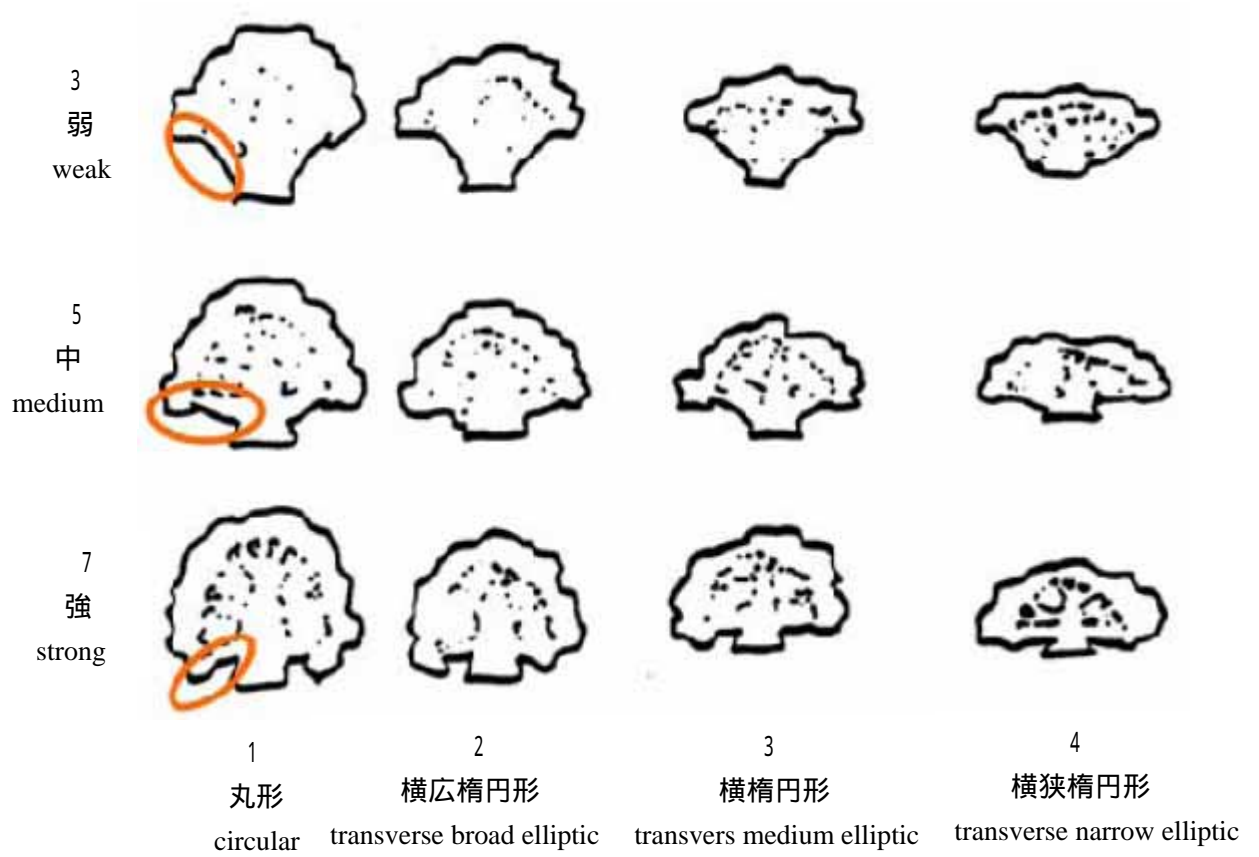
7  
高  
tall



形質 19 花らい球の縦断面の形 Char.19 Curd: shape in longitudinal section

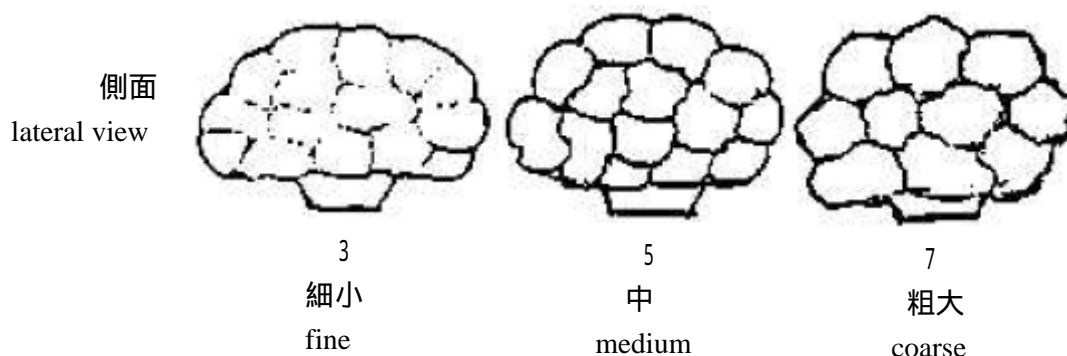
形質 20 花らい球のドーム形成の強弱 (花らい球が三角形のものを除く。)

Char.20 Excluding varieties with curd shape triangular: Curd: doming



5  
三角形  
triangular

形質 22 花らい球のこぶの凹凸 Char.22 Curd: knobbling



形質 24 花らい球のきめの粗密 Char.24 Curd: knobbling

細小：花らい表面が非常になめらかな場合

粗大：花らい表面がざらざらしている場合

The texture is “fine” when the surface of the curd is very smooth and is “coarse” when the surface of the curd is granular.

形質 28 春作の収穫の早晩性 Char.28 Earliness in spring planting

形質 29 夏作の収穫の早晩性 Char.29 Earliness in summer planting

カリフラワーの早晩性は温度と季節に強く影響を受ける。しかし、同じ場所で同じ作型であっても、早晩性は品種を区別するのに重要な形質である。そのため、品種特性の記載には必ず栽培場所と栽培時期を明記する必要がある。

In cauliflower, earliness is strongly influenced by the temperature and the season of growing. Nevertheless, at the same place and for the same growing season, earliness is an important characteristic for the assessment of distinctness of varieties. For those reasons, no example varieties are provided in the Test Guidelines and the variety description should always state the place and the season of growing.

形質 30 雄性不稔性 Char.30 Male sterility

無：70%を超える完全個体（他家受精品種あるいは自家不和合性を持つ交雑品種）

部分：30～70%完全個体（ヘテロの遺伝的不稔性の品種）

完全：30%未満の完全個体（細胞質雄性不稔性の品種）

Absent = >70% fertile plants (open-pollinated varieties or hybrid varieties produced with self-incompatibility systems)

Partial = 30% to 70% fertile plants (heterozygotic genetic sterility)

Total = <30% fertile plants (sterile cytoplasm)